

# 京都府警察機動隊寄宿舍 温かみと落ち着きのある生活

京都府警察機動隊の寄宿舍として整備された建物。  
周辺環境への調和のため、色彩への配慮と、水平ラインを基調としたデザインとし、統一性を持たせた。  
木材を多用することで、落ち着きのある空間にするとともに、災害時の機能維持も可能な計画としている。



## ○良好な住環境を考慮した整備

1階エントランス、食堂、脱衣室等の共用部では天井面を木質化し、寮室では床フローリングに京都産の桧を採用することで温かみと落ち着きのある住環境を計画とした。また、寮室だけでなく各階共用部にも自然採光、自然換気が可能な計画とした。

## ○既存施設群との調和や景観性に配慮した計画

構内既存施設のデザインコードを踏襲し、建物頂部に「庇」を設け、デザインの統一性を持たせた。また、構内施設のうち近年に建設された警察学校本館は日本の伝統色の灰白を基調にグレー系でまとめられている。今回整備の寄宿舍も周囲との調和を考え、それらの色彩を基調としながら、水平垂直ラインを効かせた外観とし、落ち着きと軽快感のある施設景観とした。

## ○環境負荷低減、省エネルギー化を考慮した計画

各寮室には日射遮蔽に最適なバルコニーを設け、窓面の日射負荷を低減させた。また、朝夕は、斜めからの日射があるため、バルコニーに設置した隔て壁とルーバーにより、寮室内への日射の入り込みを防止した。

## ○耐久性及びメンテナンス・更新性に配慮し、長寿命化等を考慮した計画

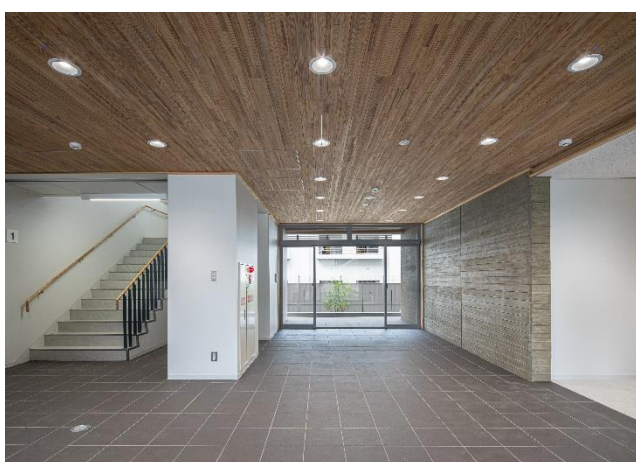
バルコニー及び頂部の連続する庇により、雨による外壁の汚れ防止を図った。また、バルコニーを設置することで外装・設備の維持管理・更新を容易にした。  
外装仕上げ材には高耐久外装材を採用し、「材」と「美観」の劣化を抑える計画とした。

## ○災害時の活動に配慮した防災計画

災害時における機動隊の活動を考慮し、非常用発電や非常時の給排水機能に配慮した計画とした。特に、鴨川、高野川が氾濫した場合の浸水予測を考慮し、1Fレベルを周辺より1m上げ、重要機器や災害時の使用室の機能維持を図った。



寮室



玄関

